社会を意識した投資をするための読書案内

会計情報を頼りに投資を続ける中、物足りなさを感じ始めた頃に出会った一冊。
この本と出会いをきっかけに、**株主として誇れる企業に投資したい！と考えるように。**

坂本光司「日本でいちばん大切にしたい会社」(2008)

著者は**企業経営とは「五人に対する使命と責任」を果たすための活動**と説く。

1. **社員とその家族**を幸せにする
   社員が幸せであってこそ、お客様に良いサービスを提供できる。
2. **外注先・下請企業の社員**を幸せにする
   赤字を下請に押しつけてはダメ。誰かの犠牲の上に成立つ組織は正しくない。
3. 社員と外注企業の満足度を高めることが、**顧客**を幸せにつながる。
4. **地域社会**を幸せにし、日常的な企業活動を通じて、地域住民の誇りとなる。
5. 自然に生まれる**株主**の幸せ
   上記4人の満足度を高めれば、株主の満足度も必然的に発生する。株主に対する使命と責任は、目的ではなく結果として実現する。

損益計算書から見る企業と社会の関わり

売上高	…	顧客
売上原価	…	取引先
売上総利益		
販売費・管理費	…	従業員、取引先
営業利益		
営業外損益	…	債権者
税引き前利益		
法人税等	…	国、地方公共団体
当期純利益		
配当	…	株式投資家

運用期間が長くなるほど「配当」が重要になる。上位の利害関係者と良好な関係を築いている企業から配当を得たい。

自ら個別の企業を調べる余裕がない場合は、**投資信託**という選択肢もある。

鎌田恭幸「日本でいちばん投資したい会社」(2011)

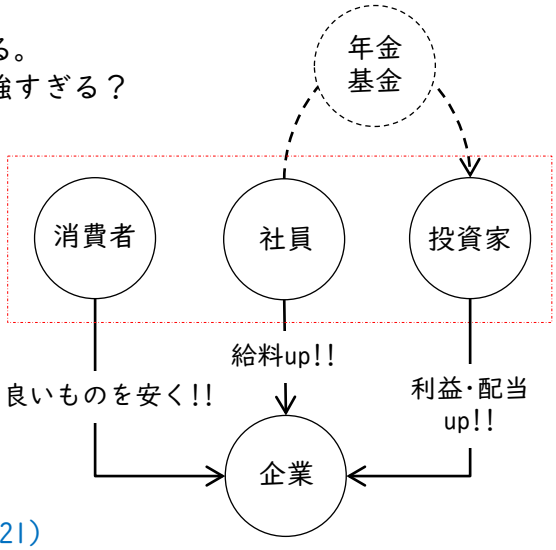
鎌倉投信・鎌田社長の著書。創業準備中に上記の坂本氏の著書と出会い、運用方針が決まったことが明かされている。

同社が運用する投資信託「結い2101」は、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献することを掲げ、運用状況等の情報開示がきめ細やかで信頼できる。

私が継続して投資を続ける唯一の投資信託です。（実はこの投資信託と関わったことが後に結婚のきっかけに）

金融の暴走を中心に変貌していった資本主義の問題点を学ぶ。

私たちは一人三役で相反する主張を企業に突きつけている。
近年は投資家（年金基金を通じ誰もが投資家）の立場が強すぎる？



- **スーザン・ストレンジ「カジノ資本主義」**（1986）
- **佐伯啓思「欲望と資本主義」**（1993）
- **原丈人「21世紀の国富論」**（2007）
- **ロバート・ライシュ「暴走する資本主義」**（2008）
- **トマ・ピケティ「21世紀の資本」**（2014）
- **レベッカ・ヘンダーソン「資本主義の再構築」**（2020）

※関連書籍ガイドとして…**松岡正剛「資本主義問題」**（2021）

ESG投資やSDGsを鵜呑みにせず、自分の頭で考えるために。

民主主義社会の政治ではすべての人に選挙権が与えられている。
しかし経済界の権力・決定権は資本の所有者に握られており、富の大小によって階層的に選挙権が与えられているような状況ではないか？

- **ピーター・S・グッドマン「ダボスマン」**（2022）
- **カール・ローズ「意識高い系資本主義が民主主義を滅ぼす」**（2023）

善悪の間に明確な境界線を引くことはできない。
経済書に限定せず幅広く学んで、自分なりの世界を読み解く方法を見つけたい！

<u>私の現在の関心テーマとその学術分野</u>

- 目の前の事象は偶然にすぎないのか？（哲学、量子力学、遺伝、確率・統計）
- 時間とは何か？　時は流れているのか？（宇宙物理学、哲学、禅）
- 私たちの意識や記憶はどこにあるのか？（脳科学、進化心理学）
- 善悪の間に線を引くことはできるのか？（哲学、社会学）
- 資本主義はどこへ行くのか？（経済学、歴史、宗教、進化生物学）
- 日本が世界に誇れるものは何か？（歴史、文化）
- 美味はどのように生まれるのか？（食文化、脳科学）

吉田　喜貴　（よしだ　よしたか）

個別企業への長期投資が信条の個人投資家。広い視野で意思決定をするため、古今東西あらゆる書物を読破することがライフワーク。
詳細なプロフィールはブログに掲載 → https://pixy10.org/profile